

井上政重 江戸幕府最初の大目付で、鎖国禁教の最高統括者。

いのうえまさしげ

豊臣秀吉関白1585 = 遠江国で、徳川家康の家臣井上上秀の四男に生まれる。母は永田氏の娘。

秀吉全国統一1590 = 5歳 :

伊豆島通交・1594 = **9歳** :

関ヶ原の戦い・1600 = 15歳 :

阿国歌舞伎始1603 = **18歳** :

家康駿府退隱1607 = 22歳 :

二代將軍徳川秀忠に廩米二百俵で仕え、

刊し教禁止・1612 = **27歳** :

大坂冬の陣・1614 = 29歳 : 大坂の陣に参加。

徳川家康没・1616 = 31歳 :

利根川付替始1621 = **36歳** :

徳川家光將軍1623 = 38歳 : この年三代將軍となった家光にも仕えて、

寛永寺創建・1625 = 40歳 : 御目付となり、

紫衣勅許無効1627 = 42歳 : 従五位下筑後守に任ぜられた。

寛永禁書令・1630 = **45歳** :

徳川秀忠没・1632 = 47歳 : 柳生宗矩・水野守重とともに、***最初の大目付**となる。

島原の乱始・1637 = 52歳 : **島原の乱が起こると、**

島原の乱終・1638 = 53歳 : ***上使の命を受けて、子息清兵衛を伴って島原半島へ赴き、松平伊豆守・戸田左門の相談役となり、松倉長門守謹責賜死の時には検使役になるなど、乱の処理に関して重要な役割を果し、**

鎖国令・1639 = **54歳** :

寛永飢饉始・1640 = 55歳 : ***創設された宗門改役になるとともに、1万石を領し大名に列し下総高岡藩の藩祖となる。幕府の鎖国・禁教政策の徹底のために西国と長崎に行き、外国商船取締りとキリスト教禁圧の政策実行を主導、平戸のオランダ商館倉庫に、キリスト紀元の年号が刻まれているのを見て、それを破壊させたことが、商館の長崎出島移転の契機になったといわれる。**

家光鎖国完成1641 = 56歳 :

寛永飢饉終・1643 = 58歳 : **禁教上の功績によって、さらに三千石を加封され、**

明滅亡・1644 = 59歳 : 宮城和甫とともに、大目付として、諸大名に正保国絵図・正保郷帳の作成を命じたが、自身も元キリシタンであったといわれ、自らの下屋敷をキリシタンを幽閉する施設として使用した。

市中諸法度・1648 = **63歳** :

禁教政策の最高指揮者として、邪宗門絶滅という幕藩制国家確立期の思想政策を推進し続け、

徳川家光没・1651 = 66歳 :

明暦の大火・1657 = **72歳** :

人身売買禁止1658 = 73歳 : ***致仕し、**

・1660 = 75歳 : 嫡男の井上政次が早世したため、その政次の嫡男である政清に家督を譲って、隠居して、

清帝国始・1661 = 76歳 : **没した。**